

令和7年度 事業報告

社会福祉法人 玉名市社会福祉協議会

基本目標の取り組みと評価

基本目標Ⅰ 誰もが適切な支援を受けられる仕組みづくり

①わかりやすい情報提供と啓発活動の充実 ②相談しやすい体制の構築とアウトリーチの充実

地域福祉への理解と参加を広げるため、広報紙やホームページ、SNS、周知チラシを作成するなど多様な媒体手段を通じて広報・啓発活動に取り組んだ。

市民が抱える生活課題に対し、心配ごと相談や無料法律相談の場を設け、一人ひとりの状況に寄り添いながら必要な情報や専門的なアドバイスを提供し、早期解決に向けた支援に努めた。

子育て世帯に向けて、教育・保育施設や地域の子育て支援サービスを円滑に利用できるよう、相談対応や関係機関との連絡調整をはじめ、子育てウェブサイトや子育てハンドブックなどを通じた情報発信の充実を図った。

包括支援センターでは、地域における高齢者支援の拠点として、介護予防ケアマネジメントや権利擁護、虐待対応を含む幅広い総合相談に対応し、高齢者の生活実態や心身の状況を丁寧に把握し、適切なサービスや支援制度へとつなぐとともに、医療・介護・福祉等の関係機関との連携強化や地域ケア会議、多職種連携会議等を通じて、地域包括ケアシステムの推進と地域における支援ネットワークの構築を図った。

これからも、社協の果たす役割への理解を地域全体に広げるため、紙面やデジタルを問わず多様なチャンネルを活用してわかりやすい福祉情報の発信に努める。また、複雑化・多様化する生活課題に対し、包括的かつ継続的な相談支援体制の充実を図り、関係機関との連携を強化しながら、地域における支援体制の充実に努める。

基本目標Ⅱ 生活を支える連携した体制づくり

①適切な福祉サービスの提供と量や質の充実 ②包括的な支援の充実

子育て家庭が安心して子育てと就労が両立できる環境を支援するため、ファミリーサポートセンター事業を通じ、地域住民による相互援助活動を推進し、地域全体で子育てを支える意識の醸成を図った。また、公共交通機関が十分でない地域において福祉バスを運行し、高齢者等の移動支援と社会参加の促進に努めた。

利用者本位の視点に立った介護サービスの提供をはじめ、判断能力が十分でない方の権利を擁護し、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等の支援を行うとともに、法人として成年後見人等を受任し、地域で安心して生活が送れるよう支援体制の充実を努めた。また、低所得者世帯や生活に困難を抱える方々へ、安定した生活と経済的自立を促進するため、関係機関との連携を図りながら生活課題を把握し、生活福祉資金貸付制度や各種貸付事業を通じた経済的支援と相談支援を実施した。

これからも、地域住民一人ひとりの多様な福祉ニーズに対応するため、既存サービスの充実と人材の確保・育成を進め、誰もが利用しやすい相談・支援体制の整備を図り、医療・福祉・教育・地域団体など多機関と連携・協働し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる包括的な支援体制の構築に努める。

基本目標Ⅲ 安心して暮らせる支え合いと助け合いの地域づくり

①地域における支え合いや支援の強化 ②地域ぐるみの見守り体制の充実

③災害に対する備えの強化

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう認知症地域支援推進員を中心に、認知症に関する普及啓発や関係機関との連携、サポーターの養成に取り組み、認知症の人とその家族を地域全体で支える体制づくりを推進した。また、認知症初期集中支援チームによる早期診断・早期対応を行い、適切な支援体制の充実を図った。

高齢者が地域で自立した生活を継続できるよう、生活支援コーディネーターが地域活動や介護予防の場への参加を通じて、多様な地域主体とのつながりを進め、生活支援や介護予防サービスの充実・創出を図った。

日常的な見守りや声かけ活動を担う福祉協力員の設置やふれあいネットワーク活動の継続・活性化を図るため、代表者会議を開催し住民主体の地域福祉活動の推進を図った。

身近な地域で自分にできることで手助けが必要な方に手を差し伸べ、お互いに助け合うつながりを生活サポートセンターがコーディネートし、住民相互の支え合い活動を推進した。

令和7年8月豪雨により玉名市内は甚大な被害を受け、被災者のニーズとボランティアをつなぎ、支援活動を調整する拠点として災害ボランティアセンターを設置し、被災者の生活再建に向けた支援を行った。

これからも、地域住民や多様な主体が地域福祉に関わり、互いに支え合う地域共生社会の実現に向けた取り組みを推進していく。また、地域の特性に応じた支援体制の構築を進めるとともに、地域福祉活動を支える担い手の発掘・育成、活動の場や拠点の確保に継続して取り組み、誰もが安心感と生きがいを持って暮らせる地域づくりの推進に努める。

基本目標Ⅳ 地域で気軽につながれる環境づくり

①共に生きる社会づくり ②交流・ふれあいの促進

③地域活動の担い手の育成 ④地域活動やボランティア活動の推進

人と人とお互い尊重し合い、ともに生きる力を育むことができるよう、学校教育における総合的な学習の時間等を活用した福祉学習の実施や、実習生を受入れ地域福祉を担う人材の育成に努め、事業所と連携した体験的な学習の機会を提供した。

子どもの発達に応じた関わり方を学ぶ機会の提供や、不登校・ひきこもり等に関する悩みを抱える家族への支援を目的とした講座を実施し、子育てに関する不安や悩みの軽減と孤立感の解消に取り組んだ。また、子育て支援センターでは子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育てに関する相談ができる場を提供し、子どもの健やかな育ちを支援した。

市民後見人養成講座や地域福祉団体合同研修会をはじめとする各種研修会・講習会等を実施し、地域福祉活動の担い手育成を進めるとともに、福祉団体やボランティア団体への活動支援及び助成を行い、地域活動の活性化を図った。

各支所で開催した福祉まつりや高齢者と子どもたちとの交流事業等を通じ、地域で多世代が交流できる場づくりに取り組み、住民同士のつながりや生きがいの創出を図った。

これからも、地域社会におけるつながりの再構築を図り、地域住民が相互に支え合う意識の醸成と地域福祉活動を担う人材の発掘・養成に取り組むとともに、多様な主体との連携を深めながら、住民が主体となって地域でつながる居場所や交流の場づくりを推進し、人と人とお互いに理解し支え合う地域共生社会の実現に向けた福祉教育の充実と地域福祉活動の推進に努める。

事業一覧

基本目標Ⅰ 誰もが適切な支援を受けられる仕組みづくり

(1) 広報誌発行事業	5
(2) ボランティア情報誌発行事業	
(3) ホームページの管理運営	
(4) 心配ごと相談事業	
(5) 無料法律相談事業	
(6) 利用者支援事業〈市受託事業〉	
(7) 地域包括支援センター運営〈市受託事業〉	6

基本目標Ⅱ 生活を支える連携した体制づくり

(1) ファミリーサポートセンター事業〈市受託事業〉	10
(2) 福祉バス運行事業〈市受託事業〉	
(3) 居宅介護支援事業	
(4) 訪問介護事業	11
(5) ふれあい援助事業	
(6) 居宅介護・重度訪問介護事業	
(7) 地域福祉権利擁護事業	
(8) 安心生活支援事業	
(9) 法人後見事業	
(10) 生活福祉資金貸付事業	12
(11) 福祉金庫貸付事業	
(12) 高額療養費等貸付事業	
(13) 福祉機器等貸出事業	
(14) サービス苦情相談窓口及び苦情解決第三者委員会設置運営	

基本目標Ⅲ 安心して暮らせる支え合いと助け合いの地域づくり

(1) 認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業〈市受託事業〉	13
(2) 認知症地域支援・ケア向上事業〈市受託事業〉	14
(3) 認知症初期集中支援推進事業〈市受託事業〉	15
(4) 生活支援体制整備等事業〈市受託事業〉	
(5) 高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業〈市受託事業〉	16
(6) ふれあいネットワーク事業	
(7) 福祉協力員設置事業	17
(8) 地域生活支援活動推進事業(たまな生活サポートセンター)	
(9) 災害ボランティアセンター機能強化事業	18

基本目標Ⅳ 地域で気軽につながれる環境づくり

(1) 総合的な学習の支援	
(2) 発達障害児子育て学習支援事業（親子育ちの応援学級）	19
(3) 家族教室（不登校・ひきこもり支援事業）	
(4) 福祉現場実習の受入れ	20
(5) 成年後見制度市民後見人養成講座開催事業〈市受託事業〉	
(6) 成年後見制度生活支援員雇用補助事業	
(7) 男性シルバー料理教室	21
(8) 手話体験教室	
(9) 救急法等の講習活動	
(10) 地域福祉団体合同研修会	22
(11) 福祉功労者表彰	
(12) 地域子育て支援拠点事業（子育て支援センターたまっ子らんど）〈市受託事業〉	
(13) 夏休み子どもデイサービス事業	23
(14) ワークキャンプ事業	
(15) ちびっこ広場遊具の修理	
(16) 高齢者ふれあい事業	
(17) 高齢者と子どものふれあい事業〈市受託事業〉	24
(18) ふれあいいいききサロン推進事業	
(19) 小学校の空き教室を活用した地域交流活性化事業	25
(20) 福祉まつり	
(21) ボランティアセンター運営〈市補助事業〉	
(22) 福祉協力校事業	26
(23) 特別支援学級への助成	
(24) 福祉団体等との連携と活動支援	
(25) 指定管理者施設の管理運営〈市受託事業〉	

基本目標以外の事業

(1) 理事会・評議員会・評議員選任・解任委員会の運営	27
(2) 社会福祉協議会会員募集事業	28
(3) 共同募金運動への協力	
(4) 日本赤十字社会員募集への協力	29

令和7年度事業報告

基本目標Ⅰ 誰もが適切な支援を受けられる仕組みづくり

(1) 広報誌発行事業

地域福祉活動やボランティア活動に関する情報提供や社協事業の周知啓発を図るため、広報誌「きずな」を毎月発行し、地域住民への情報発信に努めた。

【発行日】毎月1日発行(奇数月8ページ、偶数月に4ページ)

(2) ボランティア情報誌発行事業

市民へ幅広く情報提供するために、社協広報誌「きずな」に募集情報や講座の情報を掲載した。また、ボランティア団体の活動を紹介し、ボランティア活動の啓発を行った。

(3) ホームページの管理運営

社協事業や活動、福祉情報をインターネット上に公開して市民に参加を促すとともに各種サービスの申請書等をホームページに掲載し、利用者の利便性を図った。

【ホームページ URL】<http://www.tamasha.jp/>

(4) 心配ごと相談事業

地域住民の生活上の困りごとの身近な相談窓口として、社協職員が随時相談を受け付け、内容に応じた福祉サービスや関係機関へつなぎ、心配ごとの早期対応に取り組んだ。

(5) 無料法律相談事業

市民の日常生活におけるさまざまな悩みの中で、法律的な知識を必要とする諸問題について、専門的なアドバイスを受ける機会を提供した。

【開催日】毎月第3木曜日 14:00～16:00 (1組30分)

【場所】玉名市福祉センター

【相談員】弁護士

【利用件数】37件

(6) 利用者支援事業〈市受託事業〉

子どもやその保護者等が、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう情報提供や必要に応じた相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等に取り組んだ。

【相談実績】 (単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	5	3	3	6	6	5	9	5	5	16	4	5	72
電話	0	1	3	1	1	0	1	1	4	3	0	0	15
訪問支援	1	3	0	0	1	1	1	0	1	2	1	0	11
合計	6	7	6	7	8	6	11	6	10	21	5	5	98

▶広報活動

- ・子育て応援サイト「たまログ」の運営管理
- ・「子育てハンドブック」の発行 (年1回500部)
- ・子育て支援に関する情報誌「こそだてのわ」の冊子発行 (年1回500部)
- ・子育て支援センターたまっ子らんど便りへの掲載 (毎月)

▶関係機関との連携

会議名	内容
子育て支援センター会議(毎月)	活動状況の報告、情報収集・交換、意見交換
利用者支援事業定例会(毎月)	活動状況の報告、相談内容・ニーズ等の情報収集及び交換
こそだてのわ会議(奇数月)	子育て支援事業所の情報収集・交換、研修会 (玉東町・和水町・南関町の参加)
子育て支援課合同会議(毎月)	活動状況の報告、情報収集・交換、意見交換 (利用支援事業・地域子育て支援拠点事業・ファミリーサポートセンター事業の合同)

(7) 地域包括支援センター運営〈市受託事業〉

高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるように自助・共助・互助・公助のコーディネート及び地域資源の開発により包括的及び継続的な支援を行い、地域包括ケアシステムの構築を目指す活動を行った。

①総合相談等支援業務

適切な相談対応を行うため、相談内容に応じてチーム内の複数の職種で対応し情報共有するチームアプローチによる体制をとった。また、身近な相談場所の設置のため支所へ職員を配置し、より地域に密着した支援体制を確保できるように努めた。

【相談対応状況】

(単位：件)

相談内容		相談の形態				
		電話	訪問	来所	その他	合計
ケアマネ 日常業務	介護支援専門員相談事業	68	42	7	6	123
	ケアマネジメント等	171	56	16	3	246
支援困難事例相談事業		148	31	6	10	195
介護や介護保険等の福祉の相談	介護保険サービス	1,712	450	327	51	2,540
	地域支援事業	32	3	7	3	45
	地域支援(任意)事業	3	1	2	0	6
	高齢者在宅福祉事業	73	54	3	58	188
	介護相談(介護方法・福祉用具等)	207	65	39	8	319
保険・医療の相談	健康や病気に関する相談	328	50	15	13	406
	認知症に関する相談事業	333	77	38	41	489
その他	生活支援・調整(安否確認)	161	71	15	3	250
	他制度に関する相談事業	71	21	11	4	107
	その他	743	95	68	56	962
合計		4,050	1,016	554	256	5,876

▶各種福祉サービスに関する活動

各種福祉サービスの利用申請について、対象者や医療機関等に聞き取り調査を実施した。

【調査数】

事業名	食の自立支援	安心相談確保事業 (緊急通報装置)	生活支援ハウス	生活管理指導 短期宿泊	合計
申請件数	32 件	7 件	3 件	1 件	43 件

②権利擁護業務

実態把握や総合相談の過程で、権利擁護の観点からの支援が必要と判断した場合には、関係機関と連携し、権利擁護に係る諸制度の活用により課題解決に向けた適切な支援を行った。

また、高齢者虐待疑いの相談または通報を受けた場合は、速やかに高齢介護課と情報を共有し、必要に応じ対応した。

【対応件数】

業務内容	件数
高齢者の虐待に関する相談	502 件
権利擁護・成年後見の相談	83 件
消費者被害に関する相談	27 件
合計	612 件

③包括的・継続的ケアマネジメント業務

在宅の高齢者を支えるために医療と介護の連携をはじめとして、地域包括ケアシステムの構築を目指し、地域の関係機関と協働した取り組みを行った。

▶地域や多職種に関する連携会議

内容	件数
地域連携に係る会議	11 件
多職種連携に係る会議	58 件
ケアマネ支援に係る会議	44 件
その他の連携	8 件
合計	121 件

▶その他の会議や研修会

内容	件数
介護保険サービス担当学会議	8 件
地域関係者主催の会議	2 件
地域密着型運営推進会議	46 件
介護予防支援サービス担当学会議	685 件
その他の会議	80 件
研修会	37 件
合計	858 件

▶主任介護支援専門員連絡会

【対象者】主任介護支援専門員及び介護支援専門員

開催日・場所	研修内容	参加者
7月11日(金)14:00～16:30 横島町公民館 多目的ホール	介護支援専門員業務の環境整備～ケアマネージャーの役割を見直そう～ 講師：久留米大学文学部社会福祉学科 准教授 島崎 剛 氏	67 人
11月13日(木)13:30～16:00 岱明防災コミュニティ センター	地域ケア会議について 説明者：高齢介護課、主任ケアマネプロジェクトチーム、 包括支援センター	53 人
2月 5日(木)13:30～15:45 横島町公民館 多目的ホール	三方よし(利用者・家族、関係機関、ケアマネ)の連携を目指して～私たちの専門性を正しく伝えるパンフレット作成ワークショップ～ 講師：久留米大学文学部社会福祉学科 准教授 島崎 剛 氏	47 人

▶地域ケア（圏域）会議の開催

日常生活圏域を単位とする地域ケア圏域会議を開催し、個人の課題解決及び4圏域の課題の抽出と解決に向けた検討を行った。

【参加者】玉名郡市薬剤師会、熊本県歯科衛生士会、熊本県栄養士会、地域密着リハビリテーションセンター、玉名郡市医師会連携事業部、主任介護支援専門員連絡会、高齢介護課、保健予防課、住宅課、第1層・第2層生活支援コーディネーター、玉名市社会福祉協議会、玉名市包括支援センター

圏域	開催日	内容
岱明	6月27日(金)	地域課題の提案と阻害要因の整理
	11月28日(金)	背景や要因の深堀と地域課題の確認
天水	7月18日(金)	具体策の進捗状況確認
	12月19日(金)	具体策の評価・情報共有
有明	8月22日(金)	進捗状況の確認・評価と今後の方向性
	1月16日(金)	進捗状況の報告・推進会議への提案
玉南	10月17日(金)	地域課題の説明、問題・原因の検討
	2月27日(金)	問題・原因に対しての具体策の検討

▶介護支援専門員相談会の開催

介護支援専門員のピアカウンセリングや主任介護支援専門員によるスーパービジョン等により、バーンアウトの予防や仲間づくり、事例検討などを行った。また、介護支援専門員同士の情報交換や保険者との意見交換を行うなど介護支援専門員としての活動の継続を支援した。

また、事業所評価加算の要件となるよう介護支援専門員の研修の要素を取り入れ、開催場所についても工夫し、介護支援専門員が参加しやすい環境づくりに努めた。

【開催日】毎月第3火曜日 13:30～15:00

【場 所】玉名市文化センター、てんすい倶楽部、特別養護老人ホームもやい処地域交流室、横島公民館、特定施設りらいふ地域交流室、介護保険施設幸、悠紀会病院会議室、天水市民センター、居宅介護支援事業所NETワークサービス、岱明ふれあい健康センター

【参加者】 (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加者	10	17	11	15	9	16	10	10	12	7	10	5	132

④介護予防マネジメント業務

▶事業対象者のマネジメント業務

介護予防・日常生活支援総合事業対象者の方に、ケアプランを作成し自立支援を行った。

地域において介護予防に関する知識の普及・啓発を行い、高齢者一人ひとりが自身の健康増進や介護予防について意識を持ち、自ら介護予防、健康の維持・増進、自立支援に向けた取り組みができるようケアマネジメントを行った。

また、多様な主体による多様なサービスの活用や社会参加の視点を取り入れた介護予防の促進や高齢者のニーズ把握や生活支援・介護予防サービスの体制整備を市や生活支援コーディネーターと協働して行った。

【総合事業新規受託内訳】 (単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
直接	6	7	6	9	9	4	2	7	10	1	4	8	73
委託	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	5
合計	7	7	7	10	9	5	2	7	10	1	4	9	78

【通所利用内訳】 (単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
直接	1	1	1	2	1	1	0	0	5	0	1	2	15
委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	1	1	1	2	1	1	0	0	5	0	1	3	16

【元気あつぷ利用内訳】 (単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
直接	2	4	2	3	3	1	1	4	2	0	0	0	22
委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	4	2	3	3	1	1	4	2	0	0	0	22

【おうちで栄養あつぷ（訪問C）】

利用者数	低栄養のリスクが高く利用が必要な対象者数
4人	12人

【訪問介護利用内訳】 (単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
直接	2	0	2	2	1	0	1	1	0	0	1	0	10
委託	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	3	0	2	3	1	0	1	1	0	0	1	0	12

【ふれあい家事支援利用内訳】 (単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
直接	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	1	5
委託	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
合計	0	0	2	2	0	1	0	1	0	0	0	1	7

▶一般介護予防事業等の推進

介護予防把握事業の一貫として有明圏域集合型フレイルチェックを実施した。

【開催日】 9月3日（水） 13：30～

【場 所】 横島総合保健福祉センター

【参加者】 84人

【協 力】 広域地域リハビリテーションセンター(理学療法士、作業療法士、歯科衛生士)、
九州看護福祉大学(看護学科ボランティア学生、口腔学科実習)、
大林歯科(歯科医師、歯科衛生士)、玉名市高齢介護課(保健師、管理栄養士)、
玉名市包括支援センター職員、生活支援コーディネーター

⑤介護予防支援業務

▶要支援認定者のマネジメント業務

要支援1・2の認定者の方に、ケアプランを作成し自立支援を行った。

要支援者等の介護予防及び日常生活支援を目的とし、介護予防・日常生活支援総合事業における通所型サービス、訪問型サービス等のサービスに加え、住民主体の支援も含めた多様なサービスを提供し、これらのサービスが適切に利用できるような適切なアセスメントを実施し、ケアマネジメントを行った。

【新規契約数】

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
直接	27	23	35	40	15	36	34	19	21	21	11	25	307
委託	20	8	19	10	5	14	25	14	7	13	19	20	174
合計	47	31	54	50	20	50	59	33	28	34	30	45	481

【マネジメントA給付管理・請求数】

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
直接	158	153	159	157	153	158	168	155	174	168	154	158	1,915
委託	52	58	60	53	54	50	49	48	50	51	48	49	622
合計	210	211	219	210	207	208	217	203	224	219	202	207	2,537

【マネジメントB給付管理・請求数】

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
直接	27	26	32	28	29	31	28	28	29	29	30	30	347
委託	4	3	4	5	4	3	3	2	2	1	1	1	33
合計	31	29	36	33	33	34	31	30	31	30	31	31	380

【介護予防給付の管理・請求数】

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
直接	384	398	399	419	409	416	408	423	414	409	398	409	4,886
委託	245	242	247	250	244	241	251	254	247	244	247	257	2,969
合計	629	640	646	669	653	657	659	677	661	653	645	666	7,855

基本目標Ⅱ 生活を支える連携した体制づくり

(1) ファミリーサポートセンター事業〈市受託事業〉

子育てのお手伝いをして欲しい方(依頼会員)と子育てのお手伝いをしたい方(協力会員)との住民相互による援助活動によって地域の子育てを支援した。

【活動時間】 7:00～22:00

【会員登録】 1, 122人

依頼会員	協力会員	両方会員
893人	181人	48人

【活動件数】

内 容	活動件数
保育施設等の保育開始前や終了後の預かり	62件
保育施設等まで送迎	1,707件
放課後児童クラブ終了後の預かり	1件
学校の放課後預かり	1件
冠婚葬祭や他の子ども学校行事の際の預かり	4件
買物等外出の際の預かり	471件
その他(通院、その他送迎、趣味活動、仕事など)	34件
合計	2,280件

【助成利用件数】

ひとり親世帯	第3子以降該当世帯
766件	926件

▶子育て支援サポーター養成講座

子育て支援サポーター(協力会員)を養成するため24時間受講の講座を実施し、安全な活動実施と住民主体の子育て支援の充実に努めた。

【開催日】 年2回開催

第1回：7月1日(火)、7月2日(水)、7月3日(木)、7月7日(月)、
7月9日(水)、7月16日(水)の6日間

第2回：11月5日(水)、11月6日(木)、11月7日(金)、11月10日(月)、
11月12日(水)、11月13日(木)の6日間

【場 所】 玉名市福祉センター

【受講者】 玉名市23人、和水町2人、南関町1人

【修了者】 玉名市17人

(2) 福祉バス運行事業〈市受託事業〉

路線バスの運行がない地域において、無料で福祉送迎バスを運行して60歳以上の方の交通手段を確保し、市の温泉施設へ送迎を実施することで社会参加の促進を図った。

【利用実績】

区分	運行日数	利用者数(往復)	一日平均利用者数
玉名地区 24人乗り	248日	943人	4人
玉名地区 29人乗り	248日	998人	4人
岱明・天水地区 29人乗り	245日	1,950人	8人
合計		3,891人	16人

(3) 居宅介護支援事業(介護保険事業、介護予防・日常生活支援総合事業)

人員確保が困難となり、安定したサービスの提供が難しく令和6年度より休止中。

(4) 訪問介護事業(介護保険事業、介護予防・日常生活支援総合事業)

ホームヘルパーが居宅を訪問し、ケアプランに基づき介護サービスを提供した。また、安定したサービス提供体制を維持するためにサービスの担い手となるヘルパーを随時募集し、人材の確保に努めた。

【利用実績】

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問介護	40	36	40	37	40	43	44	46	42	40	40	40	488
総合事業現行	10	9	8	7	7	8	6	6	6	5	5	5	82
総合事業緩和	23	23	24	23	25	20	21	21	21	21	21	22	265
合計	73	68	72	67	72	71	71	73	69	66	66	67	835

(5) ふれあい援助事業

公的サービスや制度の対象とならない方で、病気やケガ、施設からの一時帰宅等で介護サービスや日中の見守り支援が必要な方に、ヘルパーが訪問し、安心して在宅生活が送れるよう家事や介護の支援を提供する。

【利用者数】 利用実績なし

(6) 居宅介護・重度訪問介護事業

障害者総合支援法における居宅介護・重度訪問介護サービスとして、障がい(身体・知的・精神)のある方に介護サービスを提供し、在宅生活を支援した。

【利用実績】

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	21	19	21	20	20	20	19	19	19	19	20	18	235

(7) 地域福祉権利擁護事業

認知症や知的障がい、精神障がい等により日常生活を営むことに支障がある方に対し、福祉サービス利用援助を中心として、日常的な金銭管理サービスや重要書類の預かり等を支援した。

【新規契約件数】 11件 【解約件数】 6件 【現契約件数】 36件

(8) 安心生活支援事業

成年後見制度及び地域福祉権利擁護事業の補完的な事業として、玉名市社協独自に利用者と契約し、福祉サービス利用援助を中心として支援を行い、併せて成年後見制度の利用に関する相談及び助言を行った。

【新規契約件数】 3件 【解約件数】 3件 【現契約件数】 4件

(9) 法人後見事業

法人として成年後見人等を受任するとともに、制度に関する情報の提供や相談対応を行なった。また、市民向け講座を開催し制度の普及・啓発に努めた。

【新規受任件数】 6件 【終了件数】 10件 【現受任件数】 14件

▶たまな成年後見センター運営協議会

委員7人(法律、医療、福祉、行政関係者)

開催日	場所	協議内容
第1回 5月20日(火)	玉名市福祉センター	・令和6年度下半期実績報告について ・令和6年度下半期後見事務内容報告・法人後見受任状況報告について ・令和7年度の主な取り組みと予定について
第2回 11月10日(月)		・令和7年度上半期実績報告について ・令和7年度上半期後見事務内容報告・法人後見受任状況報告について ・令和7年度の主な取り組みと予定について

▶市民講座 成年後見制度のお話

【開催日】 7月5日(土) 10:00～12:00

【場 所】 玉名市福祉センター 会議室B

【内 容】 演題：成年後見制度について

講師：司法書士 田中智恵子 氏

【参加者】 30人

(10) 生活福祉資金貸付事業

低所得者、障がい者及び高齢者世帯を対象として、資金の貸付け及び必要な相談・援助指導を行い、経済的自立と社会参加の促進を図り、安定した生活の維持に向けた支援を実施した。また、生活困窮者自立支援機関と連携し、活用可能な制度やサービス等に関する情報提供に努めた。

【相談件数】 新規58件 継続40件

【貸付件数】 9件

【貸付決定額】 1,262,883円

▶コロナ特例貸付債権管理業務〈県社協受託業務〉

償還に関する相談や問合せに対応し、県社協をはじめ各種機関と連携し適切な相談支援を行った。

【債権件数】 433件

(11) 福祉金庫貸付事業

低所得世帯に対し、緊急かつ一時的に必要とされる資金を貸付け、安定した生活を送れるように支援した。貸付金額一件40,000円以内。

【貸付件数】 1件

【貸付額】 40,000円

(12) 高額療養費等貸付事業

高額な医療費の支払いが困難な世帯に対して、自己負担額を除いた額の貸付けを行うことで、安心して入院治療を受けることができるよう支援し負担軽減を図った。

【貸付件数】 3件

【貸付額】 17,810円

(13) 福祉機器等貸出事業

病気やケガなどにより一時的に福祉機器を必要とされる方へ貸出しを行った。また、社会福祉協議会所有の物品を貸出すことで市民活動の促進を図った。

①福祉機器貸出

種類	車いす	歩行器	合計
貸出件数	71件	5件	76件

②備品貸出

【貸出件数】 44件

【貸出品】 レクリエーション遊具、点字板、車いす 等

(14) サービス苦情相談窓口及び苦情解決第三者委員会設置運営

福祉サービスなどを利用された方の苦情相談受付窓口を本所・支所・介護事業所や指定管理施設ごとに設け、住民の意見を真摯に受け止めサービスの質の向上に努めた。

また、受付けた苦情への対応を外部から監視、評価する第三者委員会を設置し、適切な苦情解決体制の維持に努めた。

【第三者委員会への報告】 該当事案なし

基本目標Ⅲ 安心して暮らせる支え合いと助け合いの地域づくり

(1) 認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業〈市受託事業〉

認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症の人とその家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援を繋ぐ仕組みを整備し、共生の地域づくりを推進した。

①認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解し、認知症に対する偏見などを無くすことを目的に、玉名市キャラバン・メイトを講師として地域や学校、職場等へ派遣し、サポーター養成講座を開催した。

実施先	回数	受講者
小 学 校(14校)	16回	受講者総数 1,297人 これまで受講者数延べ 21,223人
中 学 校(6校)	6回	
高等学校(1校)	2回	
その他(一般市民・団体・企業 等)	16回	
合 計	40回	

②たまなつながるプロジェクト(チームオレンジ)

生活圏域ごとのメイト会を中心として、たまな認知症応援団及び地域住民とのつながりを深め、認知症の人やその家族を支える地域支援活動の推進に取り組んだ。また、認知症サポーター養成講座の実施協力や認知症介護者のつどいへの参加協力を行うとともに、各メイト会において多様な支援活動を実施した。

メイト会	活動内容
玉名会	- 定例会開催(8回) - キャラバン・メイトとたまな認知症応援団の交流会 第1回…参加者 21人 第2回…参加者 21人
玉南会 玉陵会	- 定例会開催(4回) - くまもと県北病院フェスタに認知症ブース出展 来場者約 200人
有明会	- 定例会開催(8回) - 天水福祉まつりにオレンジドリームカフェ出店 来場者 108人
岱明会	- 定例会開催(8回) 「命のひと声訓練(睦合校区)」の実施 参加者 37人 「命のひと声訓練(鍋校区)」の実施協力 参加者約 40人 - 岱明福祉まつりへの参加協力
天水会	- 定例会開催(10回) - 天水福祉まつりにオレンジドリームカフェ出店 来場者 108人 - 天水老人憩の家すこやかフェス開催 来場者 24名

③たまな認知症応援団養成講座(チームオレンジステップアップ研修)

認知症の人やその家族を支援する担い手を養成することを目的に、3日間(計8時間)の養成講座を実施した。全日程を受講した方には、たまな認知症応援団として修了証とのぼりを交付した。

【受講者】3人

④キャラバン・メイト連絡会・フォローアップ研修

キャラバン・メイトの連携強化と共通理解を図るために連絡会を開催した。また、たまな認知症応援団との合同フォローアップ研修会を開催し、知識の向上と意見交換を行った。

▶キャラバン・メイト連絡会・フォローアップ研修

【開催日】4月23日(水)

【場 所】岱明防災コミュニティセンター大研修室

【内 容】〈連絡会〉

・令和6年度事業報告及び令和7年度事業計画について

・グループワーク 対象に応じた認知症サポーター養成講座について

参加者：33人

〈フォローアップ研修〉

・講演：MC I 知ってますか

講師：玉名病院 矢田部裕介 氏

参加者：60人(キャラバン・メイト28人、たまな認知症応援団29人、行政3人)

▶キャラバン・メイトフォローアップ研修

【開催日】 3月12日(木)

【場 所】 岱明防災コミュニティセンター大研修室

【内 容】 ◦講演1：その人らしく暮らす～新しい認知症観と地域の支え～

講師：熊本県認知症施策・地域ケア推進課 森崎博行 氏

◦講演2：電話相談から見えてくるもの

講師：熊本県認知症コールセンター 藤井美千代 氏

◦意見交換

【参加者】 51人(キャラバン・メイト28人、たまな認知症応援団20人、行政3人)

⑤キャラバン・メイト養成研修

認知症サポーター養成講座の講師となるキャラバン・メイトを養成する研修会を実施した。

【参加者】 26人

	開催日	場所	内容
第1回	7月27日(日) 9:00～17:00	岱明防災 コミュニティセンター	◦認知症サポーターに伝えたいこと ◦認知症サポーター養成講座の運営方法
第2回	8月2日(土) 9:00～17:00	玉名市福祉センター	◦企画・運営のポイント ◦模擬講座

(2) 認知症地域支援・ケア向上事業〈市受託事業〉

認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症の人やその家族に対する効果的な支援体制を構築するとともに、地域の実情に応じた認知症ケアの向上に向けた取り組みを推進した。

①認知症地域支援推進員

認知症の人やその家族が地域において「生きがい」を持って生活できるよう、認知症疾患医療センターをはじめとする医療機関、介護サービス事業所及び地域の支援機関と連携し、必要な支援を行うとともに、社会参加活動に向けた体制整備等を実施した。

②認知症総合支援事業嘱託医との連携

認知症総合支援事業の実施にあたり、嘱託医から助言や情報提供を受けるとともに、研修会においては講演協力を得た。また、認知症の人や認知症が疑われる人の個別事例に対して、医学的見地からの助言を受けることで、関係機関とのネットワーク構築や必要な支援体制の充実を図った。

【検討事例】 延べ15件

③多職種連携の推進

拠点型認知症疾患医療センター等の関係機関と連携・協働し、多職種が参加する研修会を開催した。研修会を通して、認知症支援における関係機関相互の連携強化を図った。

④見守りネットワーク会議

高齢者見守り情報登録の情報を適切に管理するとともに、登録者が行方不明となった際には、関係機関と連携しながら情報を適切に活用した。また、登録者7人について、関係者のネットワーク構築を目的とした会議を開催した。

⑤認知症介護者のつどい

認知症の人を介護する家族等の心身のリフレッシュを図るとともに、介護に関する悩みや不安の軽減・解消を目的として、ボディートークと相談会の2部構成による事業を開催した。

【参加者】 延べ65人

開催日	場所	内容	参加者
5月30日(金)13:30～15:30	Café マチキチ 高瀬裏川水際緑地	◦花しょうぶ見学 ◦ボディートーク ◦茶話会	14人
7月14日(月)13:30～15:30	玉名市文化センター	◦ボディートーク ◦相談会	9人
9月16日(火)13:30～15:30			7人
11月12日(水)13:30～15:30			5人
1月15日(木)13:30～15:30			10人
3月24日(火)11:00～14:30	立願寺公園 しらさぎの足湯	◦お花見 ◦ボディートーク	20人

⑥認知症カフェ（オレンジカフェ）設置推進

認知症カフェ（オレンジカフェ）の各地域での開催促進を図るとともに、情報共有を行いながら広報掲載等の支援を実施した。また、岱明福祉まつりや食育フェスタにおいて周知啓発活動を行った。

【開催箇所】 8箇所(内1箇所は休止中)

⑦アルツハイマーデー啓発活動

認知症について家族や地域の仲間とともに考える機会を設け、認知症を他人事ではなく自分事として捉える意識の醸成を図るため、アルツハイマー月間（9月）に合わせて周知・啓発活動を実施した。

【活動内容】

- ・たまな認知症応援団の幟設置(玉名市役所本庁・支所窓口)
- ・横断幕の設置(玉名市役所本庁道路沿い)
- ・認知症に関する書籍のブース設置(玉名市図書館4箇所)

⑧認知症疑いのある高齢者情報への対応

玉名警察署から高齢介護課を通じて認知症の疑いのある高齢者に関する情報提供に、速やかに状況確認を行い関係機関と連携しながら必要な支援につなげた。

⑨その他

▶玉名市合併20周年記念冠事業「たまにゃん」と学ぶ認知症～声でつながる安心のまち～
(命のひと声訓練)

【開催日】 2月1日(日)

【場 所】 桃田運動公園

【参加者】 34人

(3) 認知症初期集中支援推進事業〈市受託事業〉

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良好な環境の中で暮らし続けられるよう、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を設置し、個別支援を実施した。また、毎月チーム員会議を開催し、早期診断・早期対応に向けた支援状況の確認や支援方針の検討を行った。

認知症初期集中支援チーム検討委員会として、玉名市高齢者福祉及び介護保険運営協議会において対応実績等の報告を行い、事業の適切な運営や支援体制の充実に努めた。

【対応】 15ケース(継続4ケース、新規11ケース)

(4) 生活支援体制整備等事業〈市受託事業〉

高齢者が住み慣れた地域で、互いに支え合いながら安心して暮らし続けることができるよう、生活支援サービスの提供体制の整備に向けて、地域の主要団体や専門職とのネットワーク構築を図った。また、生活圏域ごとに活動する第2層生活支援コーディネーターと協働し、互助を基盤とした生活支援・介護予防サービスの創出に向けた取り組みを推進した。

▶通いの場等の新規立ち上げ・活動継続支援・広報

通いの場の立ち上げを希望する地域や団体に対し、説明会の実施など立ち上げ支援を行うとともに、運営に関する相談対応や、通いの場と第2層生活支援コーディネーターとの連携支援など、継続的な活動支援を行った。また、地域サポーターの活動中における事故に対する保険手続きなど、円滑な運営に向けた支援を行った。

市高齢介護課と協働し、協力事業所の新規開拓や通いの場のPR、地域交流の場の立ち上げに関する相談対応を行った。

▶第2層生活支援コーディネーターとの連携・第2層協議体への参加

第2層生活支援コーディネーターと連携し、各圏域における地域課題の共有を図り、第2層協議体を活用しながら地域住民と協働し、課題解決に向けた取り組みの推進及び支援を行った。

▶地域ケア圏域会議・元気あっぶケア会議等の各種会議への参加

圏域ごとに機能団体等が参画する地域ケア圏域会議へ参加し、多様な主体とのネットワークの構築を図り、地域課題に対して専門的視点に基づく意見や助言を共有し、課題解決に向けた取り組みが円滑に進むよう支援を行った。

元気あっぶケア会議では、対象者の支援につながる社会資源等に関する情報提供を行った。

▶介護支援専門員との協働に向けた活動

介護支援専門員と協働し個別課題について生活支援コーディネーターが把握する地域資源の情報提供等を行い、高齢者の自立につながるよう支援を行った。

▶高齢介護課主催の養成講座等への協力

高齢介護課が開催する講座等の企画に際し、前年度の実施状況に関する情報提供や企画内容について意見交換を行った。

▶通いの場交流会と協力事業所交流会の開催

通いの場を運営する地域サポーター同士の交流や意見交換を図るとともに、キラ玉体操の復習や介護予防に対する意識の向上、運営に必要な知識・技術の習得を目的として交流会を開催した。

▶地域課題や地域資源の把握等

通いの場や地域で開催されるサロン等に参加し、地域課題の把握や分析を行った。

▶生活支援サービス創出に向けた意見交換等の実施

団体や地域住民の会合等に参加し、地域住民との意見交換を通じて地域課題を把握し、課題解決に向けた情報提供を行った。

▶地域資源情報の提供や共有

地域住民や関係団体等からの相談に応じ、必要な情報提供や地域資源とのマッチングを行った。

(5) 高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業〈市受託事業〉

シルバーハウジング入居者の方々が安心して暮らせるように、生活援助員による訪問活動や相談対応、関係機関の連絡調整等を行い支援した。

生活援助員 1 名配置

【活動日時】 月～金曜日(土日・祝除く) 9:00～16:00

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
戸別訪問数(回)	157	160	163	196	180	180
管理棟来所者数(人)	70	68	69	83	64	49
入居世帯数(世帯)	8	8	8	9	9	9

月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
戸別訪問数(回)	198	162	180	169	162	205	2,112
管理棟来所者数(人)	61	62	67	74	51	67	785
入居世帯数(世帯)	9	9	9	9	9	10	—

(6) ふれあいネットワーク事業

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりのために、地域住民の参加と協働による見守りや支えあい活動の推進に取り組んだ。

▶ふれあいネットワーク代表者会議

地域福祉活動やふれあいネットワーク活動の更なる活性化を図り、事業課題の克服や地域課題解決に向けた新たな活動の提示と理解を進めることを目的に実施した。

【開催日】 3月30日(月) 10:00～12:00

【場 所】 玉名市福祉センター 会議室B

【内 容】 ◦講話 「災害ボランティアセンター」について

～令和7年8月豪雨 玉名市災害ボランティアセンター活動報告～

講師 玉名市社会福祉協議会 地域福祉課

◦ふれあいネットワーク活動について

◦事務手続きについて

◦意見交換

【参加者】 27人

▶設置状況

設置年度	ネットワーク名	地区
平成 20 年度	玉杵名ふれあいネットワーク	玉名地区
平成 20 年度	八嘉校区社会福祉協議会	八嘉地区
平成 21 年度	横島校区運営委員会	横島地区
平成 21 年度	天水ふれあいネットワーク	玉水・小天・小天東地区
平成 22 年度	ふれあいネットワーク豊水運営委員会	豊水地区
平成 24 年度	大浜ふれあいネットワーク	大浜地区
平成 24 年度	小田ふれあいネットワーク	小田地区
平成 25 年度	滑石ふれあいネットワーク	滑石地区
平成 25 年度	大野校区ふれあいネットワーク	大野地区
平成 26 年度	築山校区ふれあいネットワーク	築山地区
平成 28 年度	睦合校区ふれあいネットワーク	睦合地区
令和 3 年度	鍋校区ふれあいネットワーク	鍋地区

(7) 福祉協力員設置事業

ふれあいネットワーク事業を推進する中で、地域で困りごとを抱えた方々の見守り活動を中心に地域福祉活動を支える地域ボランティアとして行政区ごとに50世帯あたりに1人を基本に設置に取り組み、見守り活動費を交付した。

設置行政区(達成率)／行政区	選任数(達成率)／目標数
244 行政区(94.6%)／258 行政区	536 人(91.1%)／588 人

▶福祉協力員研修会

福祉協力員の資質確保と地域の連携体制の強化を図ることを目的に実施した。

【内 容】◦基礎編 福祉協力員の役割と活動について

講師:社会福祉協議会 地域福祉課

◦学習編 「里親制度」について

講師:社会福祉法人慈愛園

養育家庭支援センターきらきら

市町村連携コーディネーター 福岡 敏 氏

児童養護施設シオン園

里親支援専門員相談員 新居幸大 氏

◦地域別意見交換

【参加者】538人(福祉協力員、区長、民生委員、老人クラブ)

開催地区	開催日	場所	参加者
玉名地区	6月17日(火)14:00～16:00	玉名市民会館	88人
	6月20日(金)14:00～16:00		98人
	6月23日(月)14:00～16:00		91人
岱明地区	6月18日(水)14:00～16:00	岱明ふれあい健康センター	141人
横島地区	7月25日(金)14:00～16:00	横島町公民館	61人
天水地区	6月30日(月)14:00～16:00	天水市民センター	59人

(8) 地域生活支援活動推進事業(たまな生活サポートセンター)

たまな生活サポートセンターを通じ、高齢者の日常生活を地域の支えあい活動で支援するため、支援を行いたい方(支援会員)と支援をお願いしたい方(依頼会員)とを仲介し、地域で自立した生活が営めるよう支援した。

【会 員】支援会員65人 依頼会員146人

【活動実績】

(単位:件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談対応	2	3	3	2	3	0	9	1	1	9	9	4	29
初回顔合わせ	1	1	0	0	0	6	2	1	1	1	1	2	16
支援活動	97	113	107	100	90	97	100	82	93	89	81	97	1,146

(9) 災害ボランティアセンター機能強化事業

令和7年8月豪雨により甚大な被害を受け、市民の生活支援に多くの人手が必要となり災害ボランティアセンターを設置し支援活動を行った。

▶災害ボランティアセンターの運営

【開設期間】 8月13日(水)から11月30日(日)まで

【設置場所】 ◦玉名市民会館会議棟、玉名勤労者体育センター

設置期間：8月13日(水)から9月30日(火)まで

◦玉名市岱明ふれあい健康センター

設置期間：10月1日(水)から11月30日(日)まで

【活動件数】 274件

【依頼件数】 157件(世帯数109世帯)

【ボランティア数】 延べ1,404人(団体延べ127団体)

基本目標Ⅳ 地域で気軽につながれる環境づくり

(1) 総合的な学習の支援

学校からの依頼を受け、体験活動や当事者講話を取り入れた福祉教育プログラムを実施し、子どもたちの福祉理解の促進を図った。

8月以降は災害ボランティアセンター運営に注力するため、センター設置期間中の依頼については受入れを見送った。

【実施校】 小学校3校、中学校2校

【講師】 当事者講話

◦聴覚障がい者の講話 熊本県ろう者福祉協会 理事 福田 九 氏

◦視覚障がい者の講話 玉名市盲人会 会長 長尾重信 氏

学校名	学年	実施日	内 容
伊倉小学校	4年生	5月29日(木)	福祉について
		6月 3日(火)	アイマスク体験
		6月11日(水)	当事者講話(視覚障がい)、点字体験
		6月12日(木)	当事者講話(聴覚障がい)
		7月 4日(金)	アイマスク体験(授業参観)
		2月 3日(火)	車いす体験
玉水小学校	4年生	6月16日(月)	福祉について、アイマスク体験
		6月19日(木)	高齢者疑似体験、車いす体験
		6月23日(火)	車いす体験
		6月26日(月)	当事者講話(聴覚障がい)
		6月27日(火)	当事者講話(視覚障がい)、点字体験
鍋小学校	4年生	1月15日(木)	福祉について、アイマスク体験
		1月16日(金)	高齢者疑似体験、車いす体験
		1月28日(水)	当事者講話(視覚障がい)、点字体験
		1月29日(木)	当事者講話(聴覚障がい)
岱明中学校	1年生	1月21日(水)	福祉について、車いす体験、アイマスク体験
		1月22日(木)	車いす体験、アイマスク体験
		1月23日(金)	車いす体験、アイマスク体験
玉名中学校	1年生	3月11日(水)	福祉について、アイマスク体験
		3月12日(木)	アイマスク体験、当事者講話(視覚障がい)

(2) 発達障害児子育て学習支援事業(親子育ちの応援学級)

心身に発達の遅れや発達障がいのある子どもとの関わり方を学ぶ場と参加者が交流する機会を提供し、子育てに関する不安や悩みの解消が図れるよう支援した。

【場 所】玉名市福祉センター 会議室A、玉名市文化センター 視聴覚室

【参加者】延べ18人

回数	開催日	講座内容	参加者
第1回	6月19日(木) 10:10～12:10	親として愛を伝えるコツ	2人
第2回	7月17日(木) 10:10～12:10	信頼を育む心と心のつながり方	2人
第3回	8月21日(木) 10:10～12:10	叱るだけじゃない愛のある“しつけ”とは	4人
第4回	9月18日(木) 10:10～12:10	子どもの個性を活かす楽しい子育て	2人
第5回	10月16日(木) 10:10～12:10	育児と自分時間の上手な切り替え方	2人
第6回	11月20日(木) 10:10～12:10	一緒に育てる！笑顔が増える育児のヒント	2人
第7回	12月18日(木) 10:10～12:10	思春期の子どもとの上手な向き合い方	4人

(3) 家族教室(不登校・ひきこもり支援事業)

不登校やひきこもりで悩んでいる保護者やその家族を対象に、本人との関わりや支え方を学ぶ講座と互いの悩みや経験を語り合う場を提供し支援した。

【場 所】玉名市文化センター 視聴覚室

【参加者】延べ28人

回数	開催日	講座内容	参加者
第1回	6月26日(木) 10:00～12:00	子育てのゴールって何だろう？子育てとは？	2人
第2回	7月31日(木) 10:00～12:00	愛着について 自分の愛着のパターンを知ろう	3人
第3回	8月28日(木) 10:00～12:00	子どもの発達について	4人
第4回	9月25日(木) 10:00～12:00	わかりやすいコミュニケーション ～子どもにわかりやすく伝える方法～	4人
第5回	10月30日(木) 10:00～12:00	良い結果、悪い結果 ～子どもの行動を良い方向に導く方法～	3人
第6回	11月27日(木) 10:00～12:00	効果的なほめ方 ～子どもが良いことをした時のほめ方について～	2人
第7回	12月25日(木) 10:00～12:00	予防的教育法 ～子どもに前もって伝える方法～	3人
第8回	1月29日(木) 10:00～12:00	子どもの問題行動を改善する方法	3人
第9回	2月26日(木) 10:00～12:00	自分自身をコントロールする方法	1人
第10回	3月26日(木) 10:00～12:00	子どもが思春期になったときの接し方	3人

(4) 福祉現場実習の受入れ

実習生を受入れ、地域福祉を担う人材の育成に努めた。

【受入者】 26人

学校名	内容	期間	受入者
玉名工業高校	インターンシップ	11月5日(水)～11月7日(金) の3日間	3人
玉名女子高校	母性実習	4月22日(火)～7月3日(木) の期間で3日間ずつ4回	8人
九州看護福祉大学	社会福祉学科 ソーシャルワーク実習Ⅰ	7月3日(木)～8月7日(木) の期間で25日間	2人
	社会福祉学科 ソーシャルワーク実習Ⅱ	2月26日(水)～3月4日(火) の期間で5日間	1人
	看護学科 母性看護学実習	7月29日(月)～11月1日(金) の期間で3日間ずつ5回	12人

(5) 成年後見制度市民後見人養成講座開催事業〈市受託事業〉

成年後見制度やその活動に必要な知識等を習得し、市民後見人として支援ができる人材の育成を目的に開催した。

【場 所】 玉名市福祉センター

【参加者】 修了者9人(申込者10人)

開催日		科目	参加者
第1回	9月5日(金) 9:00～16:30	開講式・オリエンテーション、成年後見制度概論、認知症の理解、意思決定支援、事務連絡等	10人
第2回	9月19日(金) 9:00～17:00	成年後見制度と市町村責任、法定後見制度、任意後見制度、障害者の理解、家族法、財産法、事務連絡等	10人
第3回	10月3日(金) 9:00～16:40	市民後見概論、対人援助の基礎、市民後見活動の実際、個人情報保護法、体験実習の留意点、事務連絡等	10人
第4回	10月17日(金) 9:00～16:20	家庭裁判所の役割、後見活動の実務、事務連絡等	10人
第5回	10月31日(金) 9:00～16:40	介護保険制度、高齢者虐待防止、生活困窮者自立支援制度、生活保護、消費者被害、障害者虐待防止、事務連絡等	10人
第6回	11月14日(金) 10:10～15:40	年金制度、税務申告制度、事例検討、今後の活動について、修了式	9人

〈体験実習(3時間)〉

期間	内容	参加者
10月6日(月)～11月7日(金)	後見活動の同行、体験実習の報告書作成	9人

(6) 成年後見制度生活支援員雇用補助事業

市民後見人養成講座修了者を雇用し、後見活動の実務経験を積み市民後見人として活動できる人材育成に取り組んだ。

【養成雇用者】 4人

(7) 男性シルバー料理教室

男性高齢者等が地域で自立した社会生活を送ることができるよう栄養知識及び調理技術の習得の機会を提供し、生きがいつくりと仲間づくりの場として実施した。

【場所】横島総合保健福祉センターゆとりーむ 調理室

①男性シルバー料理教室

生活に必要な料理の技術や栄養に関する知識を学べる教室として実施した。

【参加者】延べ97人

(単位：人)

月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加者数	9	9	9	8	8	9	9	9	9	9	9	97

②男性シルバー料理サロン

シルバー料理教室修了者で、地域と交流する機会の少ない方が料理づくりを通して参加者同士の交流の場となるよう実施した。

【参加者】延べ121人

(単位：人)

月	5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計
参加者数(A班)	9	8	9	8	9	9	52
参加者数(B班)	13	12	12	11	10	11	69

(8) 手話体験教室

聴覚障がい(者)への理解とコミュニケーション手段としての手話を体験する機会を提供した。

【開催日】2月6日(金)、2月13日(金)、2月20日(金)、2月26日(木)の4日間
19:00～20:30

【場 所】岱明防災コミュニティセンター 第1研修室

【参加者】6人

【内 容】講師 熊本県ろう者福祉協会 県北支部長 酒井 亮 氏

協力 手話サークル玉名わかぎ

・聞こえない聞こえにくい方と関わるために ・コミュニケーションの種類

・指文字の学習 ・挨拶などの簡単な手話の学習 ・手話でコミュニケーションを図る

(9) 救急法等の講習活動

日本赤十字社熊本県支部と連携し、子どもや高齢者に起こりやすい事故や病気の予防、応急処置の仕方、看病や介護の方法を学ぶ講習会を実施し、技術の普及と啓発に努めた。

①救急法基礎講習会

【開催日】7月26日(土) 10:00～16:00

【場 所】玉名市福祉センター

【内 容】傷病者の観察の仕方、一次救命処置(心肺蘇生・AEDを用いた除細動・気道異物除去)等

【参加者】12人

②講師派遣

派遣日	講習内容	場所	参加者
7月 2日(水)	幼児安全法短期講習 2時間講習 (子育て支援サポーター養成講座)	玉名市福祉センター	9人
9月 27日(土)	幼児安全法短期講習 2時間講習 (子育て支援サポーターフォローアップ講座)	玉名市福祉センター	13人
11月 6日(木)	幼児安全法短期講習 2時間講習 (子育て支援サポーター養成講座)	玉名市福祉センター	6人

(10) 地域福祉団体合同研修会

玉名市内の地域福祉に関わる団体や地域福祉に関心のある方を対象に、地域の中の繋がりを見つめ直し、互いに助け合い、安心して暮らせる地域づくりを推進することを目的に地域の課題解決に向けた取り組みや地域福祉の学習の場とする研修会を実施した。

【開催日】 2月21日(土) 13:00～16:00

【場 所】 玉名市民会館 大ホール

【参加者】 420人

民生委員児童委員、区長、老人クラブ、ボランティア、福祉協力員、社協役員、地域福祉に関心のある方 等

【内 容】 ◦講演 テーマ：「こうのとりのゆりかご」から始まる第2の人生

講師：ふるさと元気子ども食堂 代表

一般社団法人 子ども大学くまもと 理事長・代表理事 宮津航一 氏

◦シンポジウム テーマ：地域で育む子どもの命

ファシリテーター：社会福祉法人 玉医会 たまきな荘 施設長 金和史岐子 氏

シンポジスト：熊本県ファミリーホーム協議会 会長宮津ファミリーホーム 管理者

一般社団法人 ふるさと元気村 代表理事 宮津美光 氏

宮津ファミリーホーム 宮津みどり 氏

一般社団法人 子ども大学くまもと 理事長・代表理事 宮津航一 氏

【日赤表彰】 令和6年度在職功労者4人

10年感謝状：松尾 晋 様

5年感謝状：村上弘芳 様、中嶋 弘 様、高橋京子 様

(11) 福祉功労者表彰

地域において永年ボランティア活動などの善行を継続して行われている方や高額寄付、金品寄付等の福祉功労者表彰式を地域福祉団体合同研修会と併せて実施した。

【開催日】 2月21日(土) 13:00開式

【場 所】 玉名市民会館 大ホール

【表彰者】 金品寄付者の部

(株)ブリヂストン熊本工場 工場長 原 秀一 様

玉名市グラウンドゴルフ協会 岱明支部 様

棚瀬信泰 様

(12) 地域子育て支援拠点事業(子育て支援センターたまっ子らんど)〈市受託事業〉

子育て中の親子が安心して集うことができる場を提供し、仲間づくりの支援や子育てに関する不安や悩みについて相談を受け、必要な情報提供を行った。

【開 所 日】 毎週月曜日～金曜日(祝日のある週は土曜日開所) 10:00～15:00

【交流活動】 ◦手遊び ◦読み聞かせ ◦紙芝居 ◦パネルシアター ◦お誕生日会(手形、写真プレゼント等) ◦工作遊び ◦節分豆まき ◦ひな祭り ◦七夕 ◦クリスマス会 等

【講習会等】 ◦助産師相談 ◦歯科衛生指導と相談 ◦ボディケア ◦心理士の子育て相談

◦食育相談 ◦プレパパプレママ教室 ◦ベビーマッサージ ◦産後のセルフケア 等

【広 報】 毎月1回広場便りの発行

【利 用 者】 (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
交流活動	560	544	677	630	497	699
電話相談	1	1	0	0	2	1
講習会	118	153	182	237	165	241
合 計	679	698	859	871	664	941

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
交流活動	909	438	559	459	521	666	7,159
電話相談	1	1	1	2	0	0	10
講習会	355	125	224	132	236	205	2,373
合計	1,265	564	784	593	757	872	9,542

【来 所 者】

組数	大人数	子ども数	合計
4,733組	5,087人	4,445人	9,532人

【相 談 者】

来所	電話	合計
40件	10件	51件

(13) 夏休み子どもデイサービス事業

さまざまな体験や異世代間のふれあいを通して、児童の健全育成と家族の子育て環境を支援し夏休みの期間に実施した。

【開催日】 8月6日(水)～8日(金)の3日間

【場 所】 岱明防災コミュニティセンター

【対象者】 小学1年～3年生

【内 容】 工作、昼食作り、自主勉強、世代間交流、レクリエーション、職場体験 野菜収穫 等

【参加者】 参加者19人(定員20人)、ボランティア延べ33人

【協 力】 岱明町民生委員児童委員協議会、玉名市老人クラブ連合会岱明支部、大野校区ふれあいネットワーク、食生活改善推進員協議会岱明地区、古閑駐在所、永井菊花園、おはなしくすくす、オカリナグループ「ブルービー」、バルーンアート(糸永千代美 様、末永るり子 様)、岱明防災コミュニティセンター職員

(14) ワークキャンプ事業

様々な体験学習を通じて社会福祉への理解と関心を深め、ボランティア活動に参加するきっかけづくりや地域とのつながりを高めることを目的として実施した。

【参加者】 34人

開催日	場所・内容	参加者
8月5日(火)	岱明防災コミュニティセンター 「異世代交流」紙コップモルックで交流対戦!	小学生(4～6年生)16人
8月8日(金)	子育て支援センターたまっ子らんど	中学生3人
8月19日(火)	「福祉の職場体験」	高校生9人
7月29日(火)	社会福祉法人天恵会 有明ホーム 「福祉の職場体験」	高校生5人
8月6日(水)	社会福祉法人玉医会 たまきな荘 「福祉の職場体験」	高校生1人

(15) ちびっこ広場遊具の修理

自治会等の申請を受け、神社の境内や公民館の空き地等に設置されている遊具の修理や撤去を行い遊び場の安全性を高め、地域の交流の場づくりを支援する。

【利用件数】 申請実績なし

(16) 高齢者ふれあい事業

ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯を対象にふれあいの機会を提供した。

①岱明ふれあい会

高齢者を地域で支えるとともに、高齢者自らが交流し互いに支えあい、生きいきとした社会生活を営む契機となることを目的に実施した。

▶岱明防災コミュニティセンター会場

【開催日】 2月26日(木) 10:00～12:40

【場 所】 岱明防災コミュニティセンター 大研修室

【内 容】 ◦講話1

演題：防犯講話

講師：鍋駐在所 西野真一 氏

◦お遊戯と歌の発表

出演：岱明幼稚園年長ゆり組

◦講話2

演題：「転ばぬ先の“口”対策」

講師：有明成仁病院歯科連携室 歯科衛生士 峠 唯 氏

◦昼食・歓談

【参加者】 岱明地域の一人暮らし高齢者64人

【協 力】 岱明町民生委員児童委員協議会、食生活改善推進員協議会岱明地区

▶保育園会場

【内 容】 保育園の園児の歌・踊り、参加者との交流、職能団体による高齢者向け講話

【参加者】 岱明地域の一人暮らし高齢者 55人

開催日	場所	参加者
10月 7日(火)	睦合保育園	21人
10月10日(金)	高道保育園	17人
10月15日(水)	大野保育園(岱明防災コミュニティセンター)	10人
10月16日(木)	鍋保育園	7人

【協 力】 睦合・高道・大野・鍋保育園、岱明町民生委員児童委員協議会、
玉名郡市薬剤師会、熊本県栄養士会、地域密着リハビリテーションセンター、
玉名郡市医師会連携事業部

②天水あいあい交流会

一人暮らし高齢者と高齢者世帯の方々へふれあいの場をつくり、お互いの交流を深めるとともに楽しく一日を過ごしていただくことで、生きがいつくりや社会的孤立感の解消と健康増進を図ることを目的に実施する。

天水老人憩の家改修工事のため中止。

(17) 高齢者と子どものふれあい事業〈市受託事業〉

ふれ愛一本松交流館において、一本松団地周辺住民を対象に、高齢者の介護予防や子ども達が安心して遊べる場を提供し、高齢者と子ども達の交流を図る取り組みを実施した。

【活動日時】 毎週月、火、木、金、土 9:00～17:00

①高齢者の健康づくりと生きがいつくりを図る活動

いきいき広場(体操、脳トレ、健康相談、茶話会 等)を実施した。

②放課後における児童の健全育成を図る活動

放課後や夏休み等に、児童の学習と住民同士のコミュニケーションの場として施設を開放した。

③地域の文化、知識及び経験並びに世代間相互の理解の促進を図る活動

季節行事の開催や工作活動を実施した。

【来館者】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
活動日数(日)	20	20	21	21	19	20
延べ来館者(人)	214	205	218	241	208	194
大人(人)	173	193	181	199	151	171
小人(人)	41	12	37	42	57	23

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動日数(日)	21	19	20	19	19	21	240
延べ来館者(人)	199	291	312	295	226	324	2,927
大人(人)	186	201	205	198	173	230	2,261
小人(人)	13	90	107	97	53	94	666

(18) ふれあいいきいきサロン推進事業

公民館等で実施されている地域のサロン活動を支援し活性化を図った。

【支援地区】

地区	支援日	行政区	場所
玉水地区	8月 6日(水)	尾田南・北区	尾田公民館
	9月17日(水)	部田見上区	部田見上公民館
小天地区	6月 6日(金)	港区	天水老人憩の家
	8月28日(木)	北横内上・下・丸尾区	北横内公民館
	10月28日(火)	石橋区	石橋担い手センター

(19) 小学校の空き教室を活用した地域交流活性化事業

小学校の空き教室を校区住民の交流や世代間交流の場として活用した。

【参加者】 岱明地域の一人暮らし高齢者

【協 力】 睦合・大野・高道・鍋小学校、岱明町民生委員児童委員協議会、食生活改善推進員協議会岱明地区、玉名郡市薬剤師会、熊本県栄養士会、地域密着リハビリテーションセンター、玉名郡市医師会連携事業部

【内 容】 児童との交流、健康講話、レクリエーション(七夕飾り) 等

開催日	6月6日(金)10:00～12:00		6月13日(金)10:00～12:00	
場 所	大野小学校	鍋小学校	睦合小学校	高道小学校
参加者	6人	6人	12人	20人

(20) 福祉まつり

身近な地域で、地域住民がお互いに支え合い安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域福祉活動に携わる団体やグループ、福祉施設等と協働して交流や体験の場を提供し、福祉を身近なものに感じ、関心と理解を深め地域福祉を増進することを目的に実施した。

名称	開催日・場所	来場者	内容
横島福祉まつり	9月開催予定 ※令和7年8月豪雨 災害のため中止	—	—
岱明福祉まつり	11月9日(日) 岱明ふれあい健康センター	約500人	太鼓演奏、演芸会、お遊戯、食品販売、子ども広場、展示コーナー、体験コーナー、相談コーナー、スタンプラリー 等
天水福祉まつり	1月25日(日) 天水市民センター 天水グラウンド	約500人	グラウンドゴルフ大会、演芸会、お遊戯、子ども広場、食品販売、抽選会、くまモン隊・ワルモンステージ 等

(21) ボランティアセンター運営〈市補助事業〉

ボランティアのコーディネートを中心に、ボランティア情報の発信やボランティア活動への参加を促進するための取り組みを行った。

取組内容	件数
ボランティアの依頼・紹介に関すること	1件
ボランティア室の利用	135件
ボランティア活動保険の受付件数	45件

▶第16回火の国ボランティアフェスティバル荒・玉（中止）

令和7年8月豪雨災害により、荒尾・玉名管内をはじめ熊本県下各地で大規模な被害が発生し災害対応と関係団体への負担等を鑑み中止となった。

〈計画内容〉

【テーマ】 荒玉から未来へ～ボランティアで地域を元気にする～

【期 日】 11月29日(土)

【場 所】 玉名市民会館 大ホール

【主 催】 熊本県ボランティア連絡協議会

第16回火の国ボランティアフェスティバル荒玉実行委員会

【後 援】 熊本県社会福祉協議会、荒玉郡市社会福祉協議会連合会

【定 員】 800人

(22) 福祉協力校事業

市内小中学校や高校の福祉活動を推進し、福祉の心を育成することを目的に、学校からの申請に基づき活動費の一部を助成した。

【助成額】 一校 30,000 円以内 合計 405,000 円

【助成校】 15 校

区分	校数	学校名
小学校	10 校	玉名町小学校、大豊小学校、伊倉小学校、八嘉小学校、玉陵小学校、大野小学校、高道小学校、鍋小学校、横島小学校、玉水小学校、
中学校	2 校	玉名中学校、岱明中学校
高 校	3 校	玉名工業高等学校、北稜高等学校、専修大学熊本玉名高等学校

(23) 特別支援学級への助成

特別支援学級に必要な機材や備品、教材等の購入費を助成することで子ども達の教育環境の充実を図った。

【助成額】 一校 23,000 円以内 合計 362,362 円

【助成校】 16 校

区分	校数	学校名
小学校	11 校	玉名町小学校、大豊小学校、伊倉小学校、八嘉小学校、玉陵小学校、睦合小学校、大野小学校、高道小学校、鍋小学校、横島小学校、玉水小学校
中学校	5 校	玉名中学校、玉南中学校、玉陵中学校、有明中学校、岱明中学校

(24) 福祉団体等との連携と活動支援

安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指し、各種福祉団体や関係機関と連携し地域福祉を推進した。また、地域の各種福祉団体が充実と自立した活動が図られるよう必要な人的支援や財源面での支援を行った。

【支援団体】 玉名市老人クラブ連合会、 玉名市民生委員児童委員連絡協議会、
玉名市ボランティア連絡協議会、 玉名市身体障害者福祉協議会、
玉名市ひとり親家庭・寡婦福祉連合会、 玉名市精神障害者家族会

【補助額】 2,421,500 円(6 団体)

(25) 指定管理者施設の管理運営〈市受託事業〉

設置目的に沿った運営を行うとともに、施設の有効活用を図り、市民サービスの向上に努め地域住民が安心して利用できるよう社会福祉協議会のノウハウを生かしながら施設の管理運営の充実を図った。

施設名	開館日数	利用者数	指定管理期間
玉名市福祉センター	211 日	30,817 人	令和 7 年 4 月 1 日～令和 12 年 3 月 31 日

※中規模改修工事のため、11 月 17 日(月)から翌年 3 月 1 日(日)まで休館

基本目標以外の事業

(1) 理事会・評議員会・評議員選任・解任委員会の運営

社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的に経営基盤の強化を図り、福祉サービスの質の向上、事業経営の透明性の確保を図るため開催した。

理事 10 人、監事 2 人、評議員 18 人、評議員選任・解任委員 5 人

①理事会

開催日	協議事項等
第 1 回 6 月 12 日(木)	議案第 1 号 令和 6 年度事業・決算報告及び監査報告について 議案第 2 号 令和 7 年度 1 次補正予算(案)について 議案第 3 号 令和 7 年度定時評議員会の開催について 議案第 4 号 令和 7 年度第 1 回評議員選任・解任委員会の開催について 議案第 5 号 任期満了に伴う評議員候補者の推薦について 報告第 1 号 任期満了に伴う役員選任(案)について
第 2 回 書面審議	議案第 1 号 会長、副会長及び常務理事の選定について 議案第 2 号 評議員選任・解任委員会委員の選任(案)について
第 3 回 書面審議	議案第 1 号 令和 7 年度 2 次補正予算(案)について 議案第 2 号 令和 7 年度第 2 回評議員会(書面審議)の開催について 議案第 3 号 令和 7 年度第 2 回評議員選任・解任委員会の開催について 議案第 4 号 評議員候補者の推薦(案)について 報告第 1 号 理事の選任(案)について 報告第 2 号 諸規程の一部改正について
第 4 回 3 月 18 日(水)	議案第 1 号 令和 8 年度事業計画(案)及び予算(案)について 議案第 2 号 令和 7 年度第 3 回評議員会の開催について 報告第 1 号 令和 7 年 8 月豪雨に伴う災害ボランティアセンター活動報告について

②評議員会

開催日	協議事項等
第 1 回 (定時評議員会) 6 月 27 日(金)	議案第 1 号 令和 6 年度事業・決算報告及び監査報告について 議案第 2 号 令和 7 年度 1 次補正予算(案)について 議案第 3 号 任期満了に伴う役員の選任(案)について 報告第 1 号 任期満了に伴う評議員の選任について
第 2 回 書面審議	議案第 1 号 令和 7 年度 2 次補正予算(案)について 議案第 2 号 理事の選任(案)について 報告第 1 号 令和 7 年度第 2 回評議員選任・解任委員会の開催について 報告第 2 号 評議員候補者の推薦(案)について
第 3 回 3 月 26 日(水)	議案第 1 号 令和 8 年度事業計画(案)及び予算(案)について 報告第 1 号 令和 7 年 8 月豪雨に伴う災害ボランティアセンター活動報告について

③評議員選任・解任委員会

開催日	協議事項等
第 1 回 6 月 12 日(木)	議案第 1 号 評議員の選任(案)について
第 2 回 1 月 16 日(金)	議案第 1 号 評議員の選任(案)について

(2) 社会福祉協議会会員募集事業

事業・活動を実施するうえで住民参加を基本とし、地域の人々が住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現を目指し会員募集を実施した。

【会費実績額】 6, 884, 500円

地 区		玉名地区	岱明地区	横島地区	天水地区	合計
一般会員 【500円以下】	金額(円)	3,459,000	1,958,000	652,500	751,000	6,820,500
	件数(件)	6,918	3,916	1,305	1,502	13,641
賛助会員 【1,000円】	金額(円)	49,000	5,000			54,000
	件数(件)	49	5			54
特別会員 【10,000円】	金額(円)	10,000	0			10,000
	件数(件)	1	0			1
その他会費	金額(円)	0	0	0	0	0
	件数(件)	0	0	0	0	0
合計	金額(円)	3,518,000	1,963,000	652,500	751,000	6,884,500
	件数(件)	6,968	3,921	1,305	1,502	13,696
加入行政区/行政区数(区)		135/168	33/33	29/30	27/27	224/258
加入行政区率(%)		80.4	100.0	96.7	100.0	86.8

(3) 共同募金運動への協力

地域福祉活動や災害時支援に助成するため、戸別募金や職域募金、学校募金、法人募金などの募金活動を実施した。

【募金実績額】 10, 258, 179円

内訳 玉名市共同募金委員会取扱分… 10, 162, 923円

熊本県共同募金会取扱分… 95, 256円

地 区		玉名地区	岱明地区	横島地区	天水地区	合計
戸別 募金	金額(円)	4,978,000	1,842,563	652,500	706,500	8,179,563
	件数(件)	9,976	3,887	1,305	1,413	16,581
大口 募金	金額(円)	54,000	5,000	0	0	59,000
	件数(件)	11	1	0	0	12
法人 募金	金額(円)	591,025	163,000	80,000	66,000	900,025
	件数(件)	148	29	11	10	198
街頭 募金	金額(円)	0	0	0	0	0
	件数(件)	0	0	0	0	0
学校 募金	金額(円)	68,670	95,489	24,440	12,996	201,595
	件数(件)	7	6	1	2	16
職域 募金	金額(円)	703,896	16,000	0	23,000	742,896
	件数(件)	13	2	0	2	17
イベント 募金	金額(円)	0	3,000	0	0	3,000
	件数(件)	0	6	0	0	6
その他 募金	金額(円)	44,030	3,808	21,804	7,202	76,844
	件数(件)	7	2	6	2	17
合計(円)		6,439,621	2,128,860	778,744	815,698	10,162,923

(4) 日本赤十字社会員募集への協力

日赤玉名市地区として、日本赤十字社の国際救援活動や災害救護活動、社会福祉事業等の活動推進の財源を確保するため会員募集活動を実施した。

【日赤会費実績額】 9, 4 2 7, 4 1 9 円

内訳 玉名市地区取扱分… 9, 2 8 5, 4 1 9 円

熊本県支部取扱分… 1 4 2, 0 0 0 円

地区		玉名地区	岱明地区	横島地区	天水地区	合計
一般会費 【2,000円未満】	金額(円)	5,683,700	1,955,500	652,500	726,000	9,017,700
	件数(件)	11,368	3,911	1,305	1,452	18,036
一般会費 【2,000円以上】	金額(円)	8,000	10,000	0	0	18,000
	件数(件)	3	1	0	0	4
法人会費	金額(円)	226,000	23,000	0	0	249,000
	件数(件)	55	2	0	0	57
寄附金	金額(円)	719	0	0	0	719
	件数(件)	1	0	0	0	1
合計(円)		5,918,419	1,988,500	652,500	726,000	9,285,419